

評価の結果に対する対応方針

(事後評価)

1. 都市型社会に対応した市街地環境のあり方及び評価方法に関する研究

評価結果を踏まえ、形態規制によって実現される市街地環境について総合的評価が行えるよう、環境要素間相互の関係性を十分に考察しつつ、 h/d 等を候補として総合指標に関する検討を進めて参りたい。また、モデル市街地に止まっている検討対象を、様々なパターンの市街地に広げることにより実用性を高めていくとともに、研究成果を随時公表し、性能指標や基準の設定について社会的合意形成を図りながら、建築基準法の制度見直しに係る施策等に反映して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項についても、十分念頭に置いた上で今後研究を進めて参りたい。

2. 地震安全性能技術を活用した地震防災の検討

評価結果を踏まえ、被災リスクの定量的予測を前提とした建築基準の開発、被災リスクに関する情報開示を活用した市場選択・建設マネジメントの在り方について引き続き検討を進め、関連分野への研究成果の応用を図って参りたい。さらに、定量的評価結果を一般ユーザーに分かりやすい「安心」へ転換する方策についても、今後の研究テーマ設定において主要な要素として検討して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項についても、十分念頭に置いた上で今後の関連する研究を進めて参りたい。